

# みどりとともに

第 26 号

2013 年 8 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会  
水戸市三の丸1丁目3番2号  
林業会館3階



## ❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

今後の海岸防災林の再生・整備について .....	2~3
高萩市の林道 .....	4
「森林整備技士」認定制度について .....	5
協会だより .....	6~7
1. 平成25年度通常総会の開催	
2. 平成24年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰・お知らせ	
協会の主な動き .....	8



# 今後の海岸防災林の再生・ 整備について

茨城県農林水産部 林業課

## 1. 東日本大震災からの復旧

平成 23 年 3 月 11 日(金)午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 9 の日本の観測史上最大、世界の観測史上でも 4 番目に大きい地震が発生しました。

この東北地方太平洋沖地震では、県内ほぼ全域において震度 6 強から 5 強の強い揺れを観測し、道路や鉄道のほか様々なライフラインが寸断される被害が発生しました。

海岸部においては、最大で 7.8m の巨大津波が発生し、約 25 ㎩にわたる広大な県土が浸水するなど、広範囲で甚大な被害を受け、治山施設についても、地震の揺れと津波の波力により、防潮護岸の倒壊及び消波根固ブロックの沈下等が発生しました。

林業課が所管する防潮護岸は、延長約 22km であり、その内、北茨城市から神栖市までの広範囲に渡る 18 箇所約 4.5km で約 31 億 5 千万円の被害が発生しました。

被災の規模が大きかった 11 箇所については、林地荒廃防止施設災害復旧事業により復旧を行い、平成 24 年度に復旧工事が完了しました。総事業費は 26 億 9 千万円に及んでおり、その他の箇所においても県単独事業等により復旧を行いました。



被災状況



復旧状況  
防潮護岸の復旧(大洗町成田地内)

## 2. 既設防潮護岸の機能強化

平成 23 年 12 月に設置された「茨城沿岸津波対策検討委員会」では、地域海岸ごとに、比較的頻度の高い津波(数十年から百数十年の頻度)に対する護岸・堤防等の整備検討の目安となる「目指すべき堤防高」及び最大クラスの津波に対して総合的防災対策を構築する際の基礎となる「津波浸水想定」の設定が行われました。

この検討結果を踏まえ、平成 25 年度より環境・景観、地域特性、既設防護施設等を総合的に判断し、目指すべき堤防高より天端高が低く、かつ、後背地に重要な保全対象がある緊急性の高い箇所を重点整備箇所に位置づけ、一体的に整備する計画としております。

この内、林業課が所管する北茨城市の神岡上・足洗海岸、東海村の豊岡海岸及び鹿嶋市の清水・明石・小宮作海岸の6つの海岸においては、津波防災対策緊急整備事業により平成25年度から平成27年度の三か年で約5.5kmの既設防潮護岸の改良・機能強化を図ることになっています。

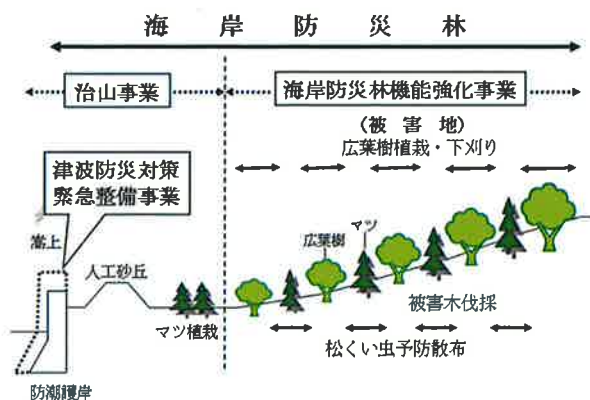
### 3. 松くい虫被害対策

海岸防災林においては、マツ林が主体であり、松くい虫被害などにより公益的機能が低下している状況となっております。このため、平成25年度より森林湖沼環境税を活用した海岸防災林機能強化事業により、マツ被害木の伐倒や松くい虫被害を防止するために薬剤の予防散布を行うとともに、地元に適した広葉樹などの植栽により樹種転換を行い、公益的機能の強化を図ってまいります。

本県においても、(公社)茨城県緑化推進機構が、(公社)国土緑化推進機構や(公社)ゴルフ緑化促進会の助成を受け、津波により被災した大洗町成田地内及び鉾田市玉田地内の海岸防災林の再生のシンボルとして、地元緑の少年団などによる植樹祭を平成24年度に実施し、復興の拠点づくりを行いました。



緑の少年団等による植樹(鉾田市玉田)



今後の海岸防災林の再生・整備について

### 4. 県民参加による防災林の再生

国においては、今回の津波の被害を受けた海岸防災林再生について「『みどりのきずな』再生プロジェクト」を立ちあげ、企業・団体等の幅広い国民の参加を得つつ、海岸防災林の再生を進めることとしています。

### 5. 終わりに

今後の海岸防災林の再生・整備にあたっては、地域の防災機能の確保を図る観点から、飛砂・風害の防備等の災害防止機能に加え、津波に対する被害軽減効果も考慮した復旧・再生を検討していく必要があります。このため、防潮堤等施設の整備や改良により必要な機能を確保するとともに、海岸防災林の適正な維持管理や広葉樹植栽による樹種転換等により多様な林分構造に導き、公益的機能の強化を図ってまいります。



町から  
村から

## 高萩市の林道

高萩市 農林課

高萩市は、茨城県の北東部に位置し、東は太平洋、西は多賀山地が連なり、その間を花貫川と関根川が流れて渓谷をつくっており、これらの海や山の自然景観は県の自然公園に指定されています。

北部は福島県東白川郡塙町と茨城県北茨城市に接し、南部は日立市、西部は常陸太田市に接しています。東京からは約150kmで、常磐自動車道を利用して約2時間の距離に位置します。市域の総面積は193.65km<sup>2</sup>。茨城県の3.2%を占めています。市域の約80%が山林となっています。

林業は自然条件に恵まれ、人工造林・枝打ちや間伐等の保育事業及び林道網の整備が行われています。しかし、木材価格の低迷や、担い手不足の中、経営は極めて厳しい状況にあります。このため、現在、森林の公益的機能が損なわれないよう、森林機能緊急回復整備事業による間伐に取り組んでいます。

平成23年3月11日の東日本大震災では、林道の被害も大きく、大能・米平線、中戸川・土岳線、鳥曾根線など重要な路線で法面・路体崩壊がありました。



法面が復旧された「鳥曾根線」

福島第一原子力発電所事故の影響もあり、未だ林産物のしいたけの出荷自粛が続いている状況にあります。

林道は、東日本大震災で被災し、現在復旧したものも含め、10路線、約26kmを管理しています。これらの林道は、機械化に伴う林産物の搬出・森林管理の効率的な林業経営の確立に、本来の機能として大きな役割を果たしています。

一方で、近年のアウトドアブームにより、四季を通じて隣接する県立花園・花貫自然公園のキャンプ場等への来客者（入林者）の増加により、林道中戸川・土岳線などは、土岳山頂付近に整備したキャンプ場のアクセス道路としての一面も有しています。



土岳へのアクセスとして利用される  
「中戸川・土岳線」

林道の整備により、森林へのアクセス方法が確保され、本来の林業の振興に加え森林をレクリエーションの場として利用する等、森林の総合利用が推進されています。グリーンツーリズムの展開、都市と農山村との交流の促進も期待されるなど、高萩市の林道は重要な役割を担っています。



## 「森林整備技士」認定制度について

公益社団法人 茨城県林業協会

本県の森林の状況につきましては、県北部から筑波山系までの林業地帯と、県南西部に広がる平地林、海岸線沿いに帯状に伸びる海岸防災林と区別されており、これらの森林が県民生活を守るうえで重要な役割を果たしております。

近年の情勢としましては、国の森林吸収源対策や県の森林湖沼環境税の活用事業などにより、林業地帯における間伐などの森林整備は進んでおりますが、平地林や海岸防災林においては、未だ未整備林が多く残っている状況です。特に海岸防災林につきましては、東日本大震災の津波と松くい虫などによる被害を受けた森林の早急な対策が求められております。

このような状況下、当協会としましては、本県の林業振興と併せ林業担い手の育成確保にも努めていることから、平地林や海岸防災林で活動できる技術者を育成するため、平成23年度から「森林整備技士」の養成をはじめ、現在までで33名を資格者として認定しております。当資格者が所属する事業体は、県に登録することで、県が発注する平地林・海岸防災林などの森林整備工事の指名を受ける機会が与えられることとなっております。

当協会では「森林整備技士」という技術者の養成が、林業担い手の育成確保及び平地林、海岸防災林の森林整備の推進に繋がると考えており、今年度も引き続き受講者を募集する予定としております。

なお、受講資格及び受講内容は、下記のとおりとなっておりますので、積極的に受講し、活動してほしいと考えております。



森林・林業基礎講座の講義

### 【受講資格】

- ・チェーンソーによる伐採及びかかり木の処理の特別教育及び刈り払い機取扱作業者に対する安全教育修了者
- ・一級又は二級の土木施工管理技士か一級又は二級の造園施工管理技士の資格を有す者

### 【講習教程】

講習内容（講習期間：3日間）

- ・森林・林業基礎講座
- ・労働安全衛生教育
- ・保安林・治山事業の概要
- ・森林整備の概要
- ・現地講習 等



海岸防災林の現地講義

## 協会だより

### 1. 平成25年度通常総会の開催

平成25年5月29日(水)、水戸市内の茨城県市町村会館において、会員数23名、うち委任状出席を含め23名において、第34回通常総会を開催いたしました。

当日は、大久保太一副会長(常陸太田市長)の開会のことばに続き、山口伸樹会長(笠間市長)より「東日本大震災以降、昨年7月には、九州北部豪雨、5月には、つくば市で竜巻被害など、全国各地で大規模災害が発生していることを踏まえ、常日頃から山地災害に備える治山事業の重要性と災害に強い健全な森林を整備、保全するうえで林道は、必要不可欠であり山村地域の活性化に重要な施設であり、計画的な整備の必要性を再認識しました。また、森林湖沼環境税の5年延長について、切れ目のない治山林道対策の実施で、安全安心の確保に取り組んでまいります。」とあいさつがありました。

また、議案第7号の一般社団法人への移行について、今年7月に申請し、平成26年4月1日付けで登記する予定で進めております。



あいさつする山口会長

総会には、来賓として後藤四朗県農林水産部次長、石川多聞県議会議員・県林業協会長、由田幸雄(一社)日本治山治水協会企画部長をはじめ県の関係幹部職員や各関係団体代表の方々など多数のご臨席を頂き盛会のうちに開催されました。



第34回通常総会の様子

議案については、山口会長を議長に選出し、議案第1号から第7号まで、原案のとおり可決承認されました。

#### 〈提出議案〉

- 議案第1号 平成24年度事業報告並びに収支決算について
- 議案第2号 平成25年度事業計画並びに収支予算について
- 議案第3号 平成25年度会費の賦課及び徴収について
- 議案第4号 平成25年度借入金の最高限度額の決定について
- 議案第5号 平成25年度役員報酬の決定について
- 議案第6号 平成26年度暫定予算について
- 議案第7号 一般社団法人への移行について

## 2. 平成24年度茨城県民有林治山・林道 関係コンクール表彰

### ◇第35回 林道維持管理コンクール

森林の整備、山村の活性化に寄与する林道について、適正な維持管理を推進し、林道機能の保全と通行の安全確保を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施し、今年度総会で表彰しました。

入賞路線は、次のとおりです。

区 分	管 理 者	路 線 名
知 事 賞	常 陸 大 宮 市	岩 の 沢 線
農 林 水 産 部 長 賞	桜 川 市	平 野 線
治山林道協会会長賞	北 茨 城 市	長 曾 根 線

### ◇第13回 治山・林道木材使用工事コンクール

民有林治山・林道工事における木材の使用を促進するとともに、技術の向上を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施し、今年度総会で表彰しました。

入賞路線は、次のとおりです。

区 分	事 業 名	請 負 業 者	備 考
知 事 賞	奥地保安林保全 緊急対策事業 第2-1号 平成22年度繰越	常北開発(株)	治山 工事
農 林 水 産 部 長 賞	予防治山事業 第9-2号 平成22年度補正	(株)大藤組	治山 工事
治山林道協会会長賞	保安林緊急改良事業 第6-1号	(株)いばらき 森林サービス	治山 工事



後藤次長、益子理事、大久保副会長（上段）  
山口会長とコンクール受賞の方々（下段）

## 《お 知 ら せ》

### ◇日本治山治水協会主催による山地災害防止 標語・写真コンクールの入賞者について

日本治山治水協会（東京都千代田区）は、林野庁の「山地災害防止キャンペーン」の関連行事として、平成10年度から毎年、防災意識の高揚を広く国民に呼びかける標語作品を募集し、審査を行い優秀な作品を表彰しています。

24年度は、全国から1,892点もの応募があり、昨年(1,498点)の26%増しとなりました。応募作品が増えたこともあり、今年は優秀な作品が多かったとの意見が審査委員からあったそうです。

厳正な審査の結果、12点が入賞しました。入賞者は11県におよび、その中で茨城県常陸大宮市立美和中学校2年 皆川美里さんと茨城県行方市立手賀小学校教員 関野奈々子先生が入賞しました。

入賞した標語は、平成25年度の山地災害防止のポスターやパンフレットに掲載されます。

また、日本治山治水協会のホームページ「治山・林道・保安林関係書籍ご案内」ページの山地災害防止標語・写真コンクールにも掲載してあります。

今年度も作品を募集しておりますので、ふるって応募して下さい。

☆入賞作品と入賞者は、次のとおりです。

### ※ 優秀賞

『忘れないあの日の地震とみんなの絆』

皆川 美里

(常陸大宮市立美和中学校2年)

『植林は大地を守る大きな手』

行方市立手賀小学校教員 関野 奈々子

○ 協会の主な動き ○ 1月～6月

- ▲ 1月10日  
明日の茨城づくり新春の集い(水戸市)
- 1月15日  
全国治山林道協会会長会議(東京都)  
民有林振興会総会・セミナー(東京都)
- 1月17日  
(社)茨城県林業協会 第4回幹事会(水戸市)
- 1月23日  
林業団体合同新年の集い(水戸市)
- 1月31日  
茨城県林業技術センター研究成果発表会  
(那珂市)
- ▲ 2月 4日～5日  
北関東治山林道協会連絡協議会(北茨城市)
- 2月14日  
第4回「新たな木材利用」事例発表会(東京都)
- 2月22日  
茨城県林業種苗協同組合通常総会(水戸市)
- 2月25日  
橋本県知事と林業関係団体長との懇談会  
(水戸市)
- ▲ 3月 3日  
TPP交渉参加阻止に向けた「茨城県選出国会議員に対する要請集会」(小美玉市)
- 3月10日  
茨城県木材協同組合連合会 県産材展示場・研修施設竣工式(常陸大宮市)
- 3月15日  
茨城県支部林業技士会現地研修会(常陸大宮市)
- 3月19日  
(社)茨城県林業協会会員団体連絡会議(水戸市)
- 3月25日  
第3回 役員会(水戸市)
- ▲ 4月 4日  
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会通常総会(東京都)
- 4月15日  
緑の街頭募金(水戸市)
- ▲ 5月10日  
監事会(水戸市)  
(公社)茨城県林業協会第1回幹事会(水戸市)
- 5月16日  
(公社)茨城県林業協会第1回理事会(水戸市)
- 5月20日  
(公社)茨城県緑化推進機構通常総会(水戸市)
- 5月21日  
TPP問題に関する県農林水産業関係団体、JAグループ合同報告会(水戸市)
- 5月22日  
茨城県木材協同組合連合会通常総会(水戸市)

- 5月23日  
(公社)茨城県林業協会定時総会(水戸市)
- 5月24日  
茨城県森林組合連合会通常総会(水戸市)  
茨城県農林水産業関係団体連絡会  
第10回定期総会・事務局会議(水戸市)
- 5月26日  
第64回全国植樹祭(鳥取県)
- 5月29日  
第1回役員会・第34回通常総会(水戸市)
- 5月31日  
茨城県林業土木事業協同組合通常総会  
(水戸市)
- ▲ 6月19日  
茨城県林業改良普及協会第57回通常総会  
(那珂市)
- 6月21日  
茨城県農林水産振興協議会総会(水戸市)
- 6月27日  
(公社)茨城県林業協会第2回幹事会(水戸市)

今後の予定

- 8月6日  
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会  
林野庁・中央協会へ要望活動
- 8月29日  
日本治山治水協会総会
- 10月3日  
全国治山林道協会会長会議
- 11月17日  
第37回全国育樹祭
- 11月20日  
日本林道協会総会  
治山・林道工事コンクール表彰式

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号

林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「御前山橋から那珂川上流を望む」  
(常陸大宮市伊勢畑)  
神長輝夫氏撮影